

日程	時間	教科単元名	形態	講義・演習のねらい	講師	
第一日	9:00-9:20	20分	受付開始			
	9:30-9:50	20分	開講式・オリエンテーション			
	1、認知症ケアの基本的理解					
	9:50-12:50	180分	認知症ケアの基本的視点と理念	講義・演習	高齢者施策における認知症ケアの方向性と位置づけを理解し、個人の尊厳を重視する認知症ケアの理念の構築を促す。	松原 宏樹
	12:50-13:40	50分	【昼食・休憩】			
	13:40-14:40	60分	認知症ケアの倫理	講義・演習	認知症ケアの倫理の理念や原則を理解し、日常的なケア場面での倫理的課題と本人や家族の意思決定や意思表出の判断の根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。	松原 宏樹
第二日	14:50-17:50	180分	認知症の人の理解と対応	講義・演習	加齢に伴う心身の変化、疾病、認知症の原因疾患、中核症状、心理的特徴を理解した上で行動・心理症状(BPSD)の発生要因と実践場面での対応を理解し、認知症ケアの実践につなげる。	松原 宏樹
	9:00-9:10	10分	事務連絡			
	9:10-10:40	90分	認知症の人の家族への支援方法	講義・演習	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	松原 宏樹
	10:50-12:50	120分	認知症の人の権利擁護	講義・演習	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	松原 宏樹
	12:50-13:30	40分	【昼食・休憩】			
	13:30-15:30	120分	認知症の人の生活環境づくり	講義・演習	住まいの様式、介護者の関わり方など認知症の人を取り巻く生活環境の構築や改善の為の評価方法や調整方法を修得する。	松原 宏樹
第三日	15:40-17:40	120分	地域資源の理解とケアへの活用	講義・演習	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える地域資源の開発の提案ができる。	松原 宏樹
	9:00-9:10	10分	事務連絡			
	2、認知症の人への具体的支援方法と展開					
	9:10-11:10	120分	認知症の人とのコミュニケーションの理解と方法	講義・演習	認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識を理解し、中核症状の特徴や進行に応じたコミュニケーション方法を身に付ける。	坂本 明美
	11:20-12:20	60分	認知症の人への非薬物的介入①	講義・演習	非薬物的介入やアクティビティプログラムなどの支援の取り組みを認識しつつ、認知症の人の心理的安定や生活の質を向上するための活動についての理解を深めること。	坂本 明美
	12:20-13:10	50分	【昼食・休憩】			
第四日	13:10-14:10	60分	認知症の人への非薬物的介入②	講義・演習	非薬物的介入やアクティビティプログラムなどの支援の取り組みを認識しつつ、認知症の人の心理的安定や生活の質を向上するための活動についての理解を深めること。	坂本 明美
	14:20-17:20	180分	アセスメントとのケアの実践の基本Ⅰ①	講義・演習	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状の要因のアセスメントを行い、具体的なニーズを把握することができるようアセスメントの基本的視点を理解する。	坂本 明美
	9:00-9:10	10分	事務連絡			
	9:10-10:10	60分	アセスメントとのケアの実践の基本Ⅰ	講義・演習	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状の要因のアセスメントを行い、具体的なニーズを把握することができるようアセスメントの基本的視点を理解する。	坂本 明美
	10:20-12:20	120分	アセスメントとのケアの実践の基本Ⅱ(事例演習)①	講義・演習	アセスメントを踏まえた、目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践に関する計画の作成・立案ができる。チームでケアの実践に関する計画の評価やカンファレンスを行うことができる。	坂本 明美
	12:20-13:10	50分	【昼食・休憩】			
第五日	13:10-14:10	60分	アセスメントとのケアの実践の基本Ⅱ(事例演習)②	講義・演習	アセスメントを踏まえた、目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践に関する計画の作成・立案ができる。チームでケアの実践に関する計画の評価やカンファレンスを行うことができる。	坂本 明美
	14:20-17:20	180分	認知症の人への介護技術Ⅰ(食事・入浴・排泄等)	講義・演習	食事・入浴などの基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、日常生活の安全・安心の向上、健康の維持増進を図りつつ、認知症の人の能力に応じた自立支援の実践ができる。	坂本 明美
	9:00-9:10	10分	事務連絡			
	9:10-12:10	180分	認知症の人への介護技術Ⅱ(行動・心理症状)	講義・演習	認知症の人の行動の背景を理解した上で、認知症の行動・心理症状(BPSD)に対してチームで生活の質が高められるような支援方法を修得する。	松原 宏樹
	12:10-13:10	60分	【昼食・休憩】			
	3、実習					
第六日	13:10-17:10	240分	自施設実習の課題設定	講義・演習	認知症の人が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じた課題と目標を明確にし、ケアの実践に関する計画を作成する。	松原 宏樹 楠本 美香 原 美穂子
	自施設実習(アセスメントとケア実践) 4週					
	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する計画やケアの実践を展開できる。					
第六日	9:00-9:10	10分	事務連絡			
	9:10-12:10	180分	自施設実習評価	講義・演習	アセスメントやケアの実践に関する計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にすることができる。	松原 宏樹
	12:10-12:30	20分	閉講式			